

うんごちは
ちそう



Natural environment from Poop

人の営みと森の力、視点を変えれば世界が変わる。

糞土師
伊沢正名

2017年11月5日 (日) 16:00~18:00 (開場15:30)

入場料：無料 定員：90名 (学院生予約不要・一般参加者要予約)

会場：瓦町 FLAG 8F IKODE 瓦町 大会議室 2

主催：濱川学院 ~ Hammer Academy ~

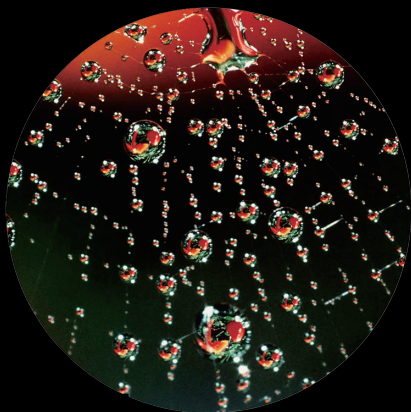
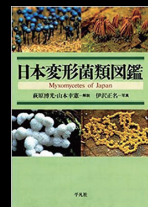
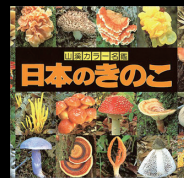




photo Masana Izawa



主な著書・共著書

- 1988 『日本のきのこ』山と溪谷社
- 1995 『日本変形菌類図鑑』平凡社
- 2006 『きのこ博士入門』全国農村教育協会
- 2010 『カビ図鑑』全国農村教育協会
- 2008 『くう・ねる・のぐそ』山と溪谷社
- 2013 『うんこはごちそう』農山漁村文化協会
- 2017 『葉っぱのぐそをはじめよう』山と溪谷社

「最も低く見られているもので、勝負したい。」

この言葉には伊沢正名さんの信念が込められています。キノコ、コケ、変形菌の写真界では名の知れた伊沢さんは、1974年から現在まで、信念を持って野糞を続けてきた糞土師（ふんどし）としても知られている。2015年、東京のギャラリーに展示された馬糞の写真には、長年培ってきた生命循環の思想が一枚に納められており、伊沢さんの語る「うんこ」には、我々のイメージをはるかに超える深い知識と経験が込められています。一般的に、『野糞・うんこ』と聞いて、不潔だと感じ、眉をひそめるのは仕方ありません。しかし、もっと思慮深く、真剣な眼差しを向けた先に見えるものがあります。43年にわたり、一人で革命を続けてきた伊沢さんの言葉は、私たちが見ようとしていない、自然界の大きな動きに気づかせてくれます。

「学力だけではない、自分だけの思想を持たせたい。」

滝沢達史／瀬戸内国際芸術祭 参加アーティスト

「これから社会に出てゆく学院生に、学力だけではない思想を持たせたい。」濱川代表から相談を受けた時にまず思い浮かんだのが伊沢さんでした。そのタイトルが容易に受け入れられるものではないことは想像がつきます、しかし、これから社会の建前とも出会うであろう若者たちに、信念を持った人間の言葉を届けてあげたい。「うんこはごちそう」という伊沢さんの講演には、目からウロコが落ちる思想が含まれています。40年以上にわたり築き上げた哲学は、昨今テレビや雑誌など、メディアでも注目され始めました。たとえ人に疎まれようとも、信じた道を貫いて来た伊沢さんの言葉は、きっと勇気を与えるでしょう。困難を前にした時、自分を信じられる力が必ず必要になる。おそらくそれが、濱川学院が伝えたい人間力なのだと思います。



糞土師：伊沢正名（いざわ まさな）

1950年茨城県生まれ。高校時代に人間不信に陥り、高校中退。仙人を夢見て各地の山々を巡る旅に出る。70年から自然保護運動を始め、尿処理場反対運動をきっかけに、ウンコの問題を考え始める。75年に菌類と隠花植物(キノコ、コケ、変形菌等)の写真家となり、現在までの出版物は多数。1974年1月1日信念を持ってノグソを始め、以後43年間、累計ノグソ数は13,760回に及ぶ。(2017年4月)菌類と糞の専門知識に基づいた独自の環境思想は他に類がない。2006年写真家を辞め、糞土研究会を設立。以後、全国様々な場所にて、講演会を行なっている。

出典：ノグソフィア <http://nogosophia.com>

wikipedia「伊沢正名」

濱川学院 ～～ リベラルアーツ講座 特別講演会 ～～

タイトル：「うんこはごちそう」

【講師】伊沢正名（糞土師）

【日時】2017年11月5日（日） 講演 16:00 - 18:00 開場 15:30

【会場】瓦町 FLAG 8F IKODE 瓦町 大会議室 2

【入場料】無料（一般参加者要予約）

【定員】90名

【予約】takahammer@gmail.com

*一般参加の方は件名に「伊沢正名講演会参加」とお書きの上、ご予約ください。2、3日中にお返事を差し上げます。

MAP

